2023年度 個人研究実績・成果報告書

2024年 4月 19日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	戸室健作
研究課題	2017年における都道府県別貧困率の実態解明と貧困の解消策の研究				
研究キーワード	貧困、ワーキングプア、非正規労働、労働組合	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	10. 人や国の不平等をなくそう	

1. 研究成果の概要

2017年の都道府県別の貧困率、ワーキングプア率、子どもの貧困率、捕捉率については、2020年度に測定・公表した。それらの数値を基にして、都道府県別貧困率の高低が生じる要因について、重回帰分析で明らかにすることを考えていた。しかし、貧困解消において期待できる組織として労働組合が考えられるが、その労働組合が行ったアンケート調査のまとめや分析を23年度に集中して行ったために、重回帰分析による解明は24年度に試みる予定である。

2. 著書・論文・学会発表等

【著書・論文（査読なし）】

[著書]

- ・永田瞬・戸室健作編『働く人のための人事労務管理』八千代出版、2023年4月5日。
戸室担当：「1章 採用と退職」19-41頁、「7章 非正社員」143-169頁、「9章 労働組合」193-216頁。
- ・日本自治体労働組合総連合編・黒田兼一監修『新型コロナ最前線 自治体職員の証言 2020-2023』大月書店、2023年8月20日。
戸室担当：「会計年度任用職員の制度と労働実態」251-260頁。

[論文（査読なし）]

- ・戸室健作「貧困の拡大と労働組合によるメンバー以外への支援活動の意義」（連合総研『共に支え合う連帯社会の構築を目指して—地域コミュニティの一翼を担う労働者自主福祉運動の人材育成等に関する調査研究報告書—』連合総合生活開発研究所、2023年7月、22-34頁）。

【学会発表等】

[学会報告等]

- ・「会計年度任用職員「いまだから聴きたい！誇りと怒りの2022アンケート」調査のクロス集計結果報告書（案）について」（自治労連地方自治問題研究機構・人事給与研究会：自治労連会館）、2023年8月21日
- ・「会計年度任用職員の賃金規定要因と労働組合」（自治労連地方自治問題研究機構・人事給与研究会：自治労連会館）、2024年3月24日

[その他]

- ・戸室健作『自治労連「会計年度任用職員「いまだから聴きたい！誇りと怒りの2022アンケート」調査」のクロス集計結果報告書』CUC DISCUSSION PAPER No. 26、千葉商科大学国府台学会、2023年9月、1-79頁。

3. 主な経費

貧困問題や労働問題などをテーマとする書籍を中心に購入した。また、中古のノート型パソコンを購入した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

- ・ 日本労働社会学会幹事（研究活動担当）
- ・ 労務理論学会幹事（学会誌編集担当）
- ・ 労務理論学会誌編集委員
- ・ 労務理論学会第34回全国大会実行委員会事務局長
- ・ 自治労連・地方自治問題研究機構「人事・給与研究会」会員
- ・ 福祉国家構想研究会・雇用労働部会会員
- ・ 福祉国家構想研究会・生活保障基本条例制定部会会員
- ・ 福祉国家構想研究会・資本主義構造分析部会会員

(本文は2ページ以内にまとめること)